

1. アジアへのコンテンツ展開をはじめとするクールジャパンの推進

【情勢認識】

- 知財計画2011の重点戦略として位置付けたクールジャパンを官民一体で進めていく中、クールジャパンの更なる展開を図る上で課題が明らかになってきた。
- 我が国では、コンテンツの海外展開に関する成功事例に乏しく、関係者の海外展開に向けたモチベーション向上やインセンティブ付与が課題。また、海外からの国内ロケ誘致について、窓口が分散化して手続きが煩雑で、海外に向けた情報発信も乏しい。
- クールジャパン戦略について全体的に関係者の意識が高まり、グローバル展開に向けた取組が進められてきたが、コンテンツなど単体での発信が中心であり、クールジャパンを一層効果的に打ち出していくことが課題。

【準備会議での主な論点】

(成功事例の創出による国内外への展開)

- 官民を挙げてコンテンツやアーティストの海外展開の成功事例をモデル的に生み出すことで、関係者の意識喚起を行い、新たな市場開拓につなげていくべきではないか。また、アジアの新興国等に日本の文化的魅力を浸透させていくことで、コンテンツの海外展開の需要喚起やインバウンドの需要拡大が期待できるのではないか。
- 海外からの国内ロケ誘致促進のため、ワンストップでロケ撮影支援を行う体制を整備したり、英語・アジア言語での情報発信を推進すべきではないか。また「札幌コンテンツ特区」について、映画等の大型ロケ撮影の誘致を促進するモデルとして重点的に支援すべきではないか。

(クールジャパンらしさの追求・強調)

- クールジャパンの発信力を強化するため、海外のファンと連携しつつ、クールジャパン同士を融合させたり、コンテンツと産業製品との協同を進めるなど、パッケージ化した海外展開が重要ではないか。
- 海外で強い関心が持たれている日本のデザインをクールジャパンとして情報発信力を強化するなど、クールジャパンの需要を創造していくべきではないか。
- クールジャパンらしさの源流となる日本の匠の持つ優れた職人芸などの技を広く社会で活用できるようにすることで、クールジャパンの更なる深化・発展を図るべきではないか。

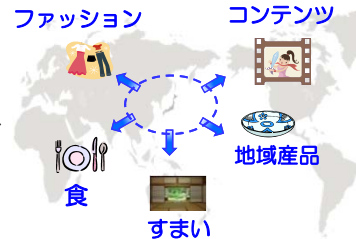
主要施策のイメージ例

①成功事例の創出による国内外への展開の拡大

海外展開支援

○官民を挙げた成功事例のモデル創出

- ・市場拡大が期待できるアジア新興国などにおいて、コンテンツやアーティストを市場開拓のモデルに選定し、官民を挙げて継続的な海外展開を推進
- ・国際映像見本市の国内開催など、国際共同製作により、日本の誇る技術力・企画力の海外展開を後押し



○日本文化発信のためのローカライズの取組推進

- ・コンテンツの英語版・アジア言語版の作成など、日本の魅力を海外に浸透させていくためのローカライズの取組を推進



インバウンド支援

○窓口の一本化など海外からの国内ロケ撮影誘致促進

- ・海外からの国内ロケ撮影誘致に向けたワンストップ窓口の整備及び英語・アジア言語での情報発信、インセンティブ付与の検討

○札幌コンテンツ特区の重点推進

- ・「札幌コンテンツ特区」の重点推進及び新たな特区申請に向けた支援



②クールジャパンらしさの追求及び強調

○クールジャパンの融合化戦略

- ・日本コンテンツ・製品の海外ファンと連携し、アニメと食、ファッション、日本製品とスポーツなど、クールジャパン同士の融合や産業製品とのパッケージ化を推進



○クールジャパンの新分野の展開

- ・産業製品や建造物など産業デザインの情報発信を強化するとともに、クールジャパンとして打ち出すための取組を推進
- ・公共物のデザイン規制緩和や公共調達によりデザイン需要を創造



2. デジタル化・ネットワーク化の基盤強化

【情勢認識】

- クラウドコンピューティングの発展に伴い、映像などコンテンツ通信量が増大し、海外や移動通信での視聴に遅延やロスが生じるなどの意見が示されているが、コンテンツユーザーの視点からはその原因が明らかでないため、情報通信インフラの過不足に関する議論が噛み合わない。
- クラウド型サービスに海外プラットフォームが進出する一方、我が国では、クラウド型サービスが著作権侵害に該当する場合があるなど法的リスクの指摘もあり、新規ビジネス創出の委縮が危惧される。また、コストやセキュリティなど、日本発クラウド型サービスを促進するための課題が生じている。
- 「デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会」(平成22年6月:総務省、文部科学省、経済産業省)の提言を踏まえ、電子書籍交換フォーマットの策定など電子書籍の市場形成に向けた基盤が整備されつつあるが、電子書籍を巡る国内外の動向は加速しており、本格的な市場形成に向けて関係府省が連携した取組が求められる。

【準備会議での主な論点】

(コンテンツ流通を支える情報通信インフラの整備)

- 情報通信インフラについてコンテンツユーザーの視点に立ち、遅延等の課題を見据え、更なる情報通信インフラの整備の在り方を検討すべきではないか。

(クラウド時代の環境整備)

- クラウド型サービスの法的リスク解消に向けた著作権法等の制度上の課題への対応をはじめ、コンテンツ強化の観点から、クラウド型サービスを巡る情勢認識及び今後の課題について整理し、必要な措置を講じることが重要ではないか。

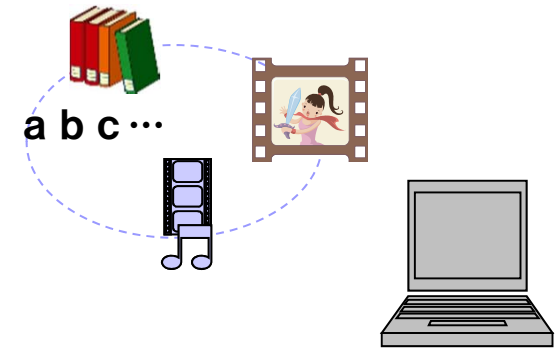
(電子書籍の本格的な市場形成)

- 電子書籍懇談会提言後の成果や国内外のその後の動向を踏まえ、関係府省が連携した取組について新たな課題と工程を整理し、電子書籍市場の本格的な市場形成に向けた取組を加速化すべきではないか。

主要施策のイメージ例

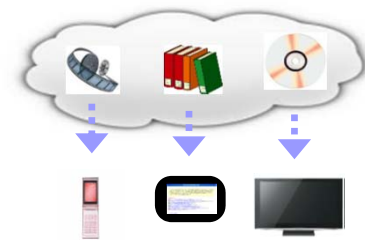
①コンテンツ流通を支える情報通信インフラの整備

- ・情報通信インフラについて、コンテンツユーザーの視点に立って遅延等の課題を見据え、コンテンツユーザーの意見を聴きながら更なる情報通信インフラの整備の在り方を検討するよう、関係府省に要請。その取組状況を踏まえ、知財本部とIT本部が連携し、必要な調整を行う



②クラウド時代の環境整備

- ・クラウド型サービスの進展に伴う環境整備を図るため、法的リスク解消の観点から、著作権法等の制度改正や運用改善の必要性について検討・対応
- ・コンテンツ強化の観点から、クラウド型サービスを巡る情勢認識及び今後の課題について整理を行い、必要な措置を講じるよう、関係府省に要請。その取組状況を踏まえ、知財本部とIT本部が連携し、必要な調整を行う



③電子書籍の本格的な市場形成

- ・電子書籍市場の基盤形成のため、中小等の民間事業者による協同の取組支援などを通して、著作物のデジタル化やコンテンツ流通を支援し、ポーンデジタルの電子書籍の流通を推進
- ・国会図書館のデジタル化資料をエンドユーザーまで提供するため、出版業界とのWin-Winの関係形成を図りつつ、ビジネスベースで進めるようにするための仕組みを検討
- ・電子書籍に関する三省懇談会(平成22年6月:総務省・文科省・経産省)提言後の成果及び国内外のその後の動向を踏まえ、知財本部が総合調整し、関係府省が連携した取組に関する新たな課題と工程を整理

